

ソフトバンク・テクノロジー株式会社
株主通信 2015.4.1—2016.3.31



情報革命で人々を幸せに
～技術の力で、未来をつくる～

SoftBank
Technology

TOP MESSAGE

トップメッセージ



株主の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第28期（2016年3月期）の事業概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長 CEO 阿多親市

3期連続となる増収増益を目指します

大型クラウド開発案件の受注とプロジェクト管理体制強化により過去最高の業績を達成

「デジタルマーケティング」「システムインテグレーション」「プラットフォームソリューション」の事業分野がいずれも好調に推移し、売上高は451.6億円（前期比+13.4%）、営業利益は23.0億円（前期比+65.0%）となり、過去最高の業績となりました。

これまで注力してきたクラウド領域の事業において大型の開発案件に対応できる実力がついたこと、そして2015年3月期の大型不採算案件の発生を受けて、プロジェクト管理体制の強化に努めた結果、大型不採算案件の抑制とエンジニアの生産性向上に繋がり、大きな利益成長を果たすことができました。形態別売上高では、従来から力を入れてきたストックビジネスが堅調に積み上がり、顧客別では、ソフトバンクグループ以外の法人企業・官公庁に対する売上高が23%伸長しております。

配当金につきましては、日頃ご支援いただいている株主の皆様へ利益を還元するため、期初に公表した期末配当金20円に比べ10円増額し、1株当たり30円とさせていただきます。

「クラウドで、ビジネスをトランスフォーメーションする」企業へ

注力3事業である「データアナリティクス」「セキュリティソリューション」「マイクロソフトソリューション」を合算した売上高は、3年間で約4倍、売上構成比の4分の1を占めるまでに成長しました。この領域を年率20%程度で成長させていくために、当社のビジネスをトランスフォーメーションしてまいります。「事業のサービス化」をクラウド上で加速させ、注力3事業を融合させたソリューションにより、お客様のビジネスをトランスフォーメーションする「ビジネス拡大のパートナー」を目指してまいります。

さらに、2018年に向けて「IoTビジネスの開発」にも取り組み、当社グループの技術力融合と、各業界の関係者を巻き込んだ実証実験も積極的に実施してまいります。

2017年3月期は、2016年3月期に伸ばし切れなかったセキュリティビジネスの事業構造の転換を図り、クラウドセキュリティ分野のサービス拡充によるクラウドビジネスの優位性強化により、増収増益となる売上高470億円、営業利益24億円を目指してまいります。

SBTニュースハイライト

導入事例

2016/03/10 ダイハツ販売会社ウェブサイトを全面リニューアル

2016/03/31 鹿島グループがIT資産約2万台を一括管理

SBTトピック

2015/07/21 2016年卒 IT業界 新卒就職人気企業ランキングで2冠達成

2016/01/28 Office 365の導入ユーザー数50万を突破

認定・受賞歴

2015/09/03 「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2015」を受賞

2016/02/10 日本企業初、SBTがAdobe Analytics Specializedパートナーに認定

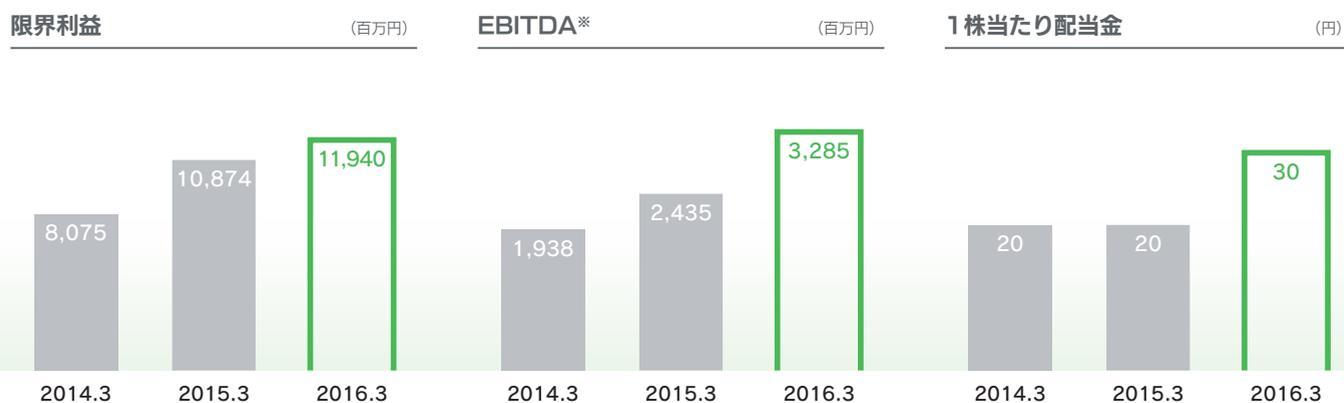
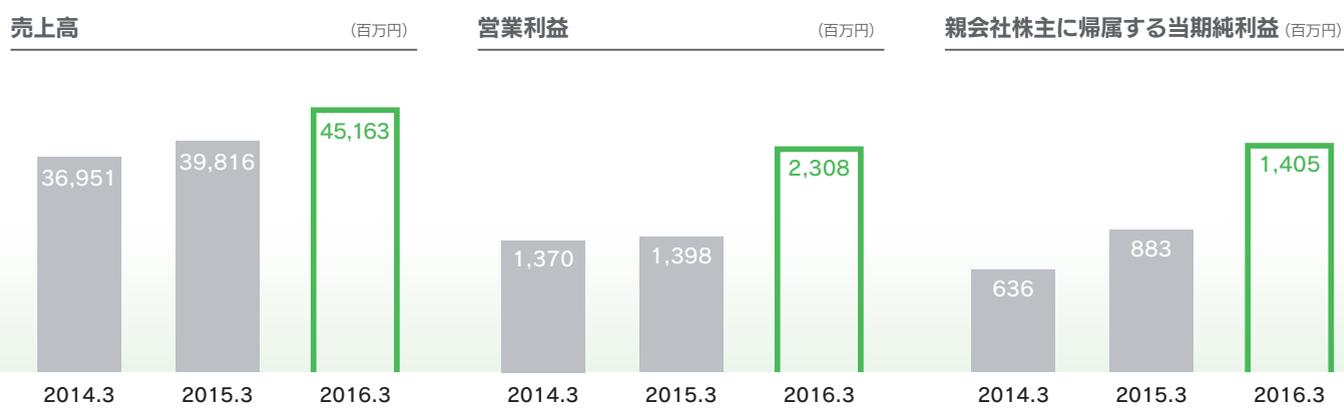


SPECIALIZED Adobe Analytics

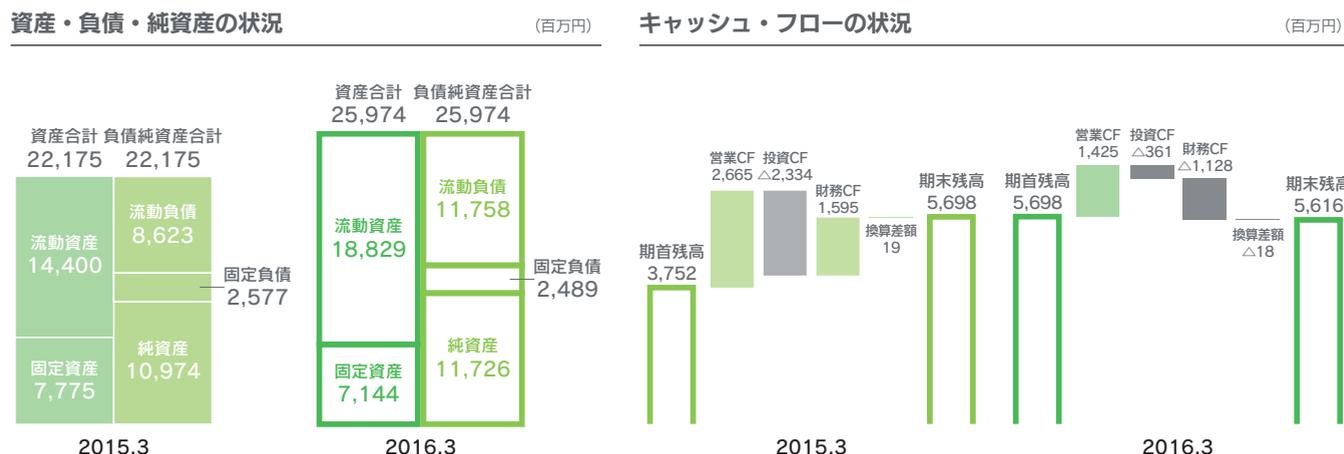
FINANCIAL HIGHLIGHT

決算ハイライト

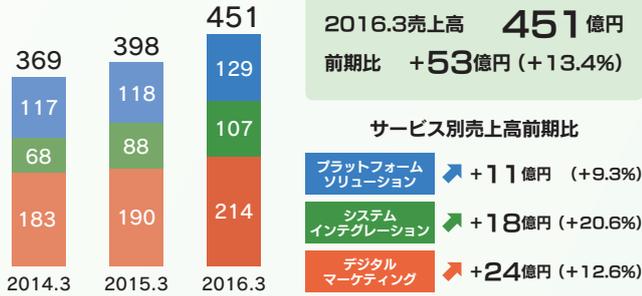
- ➔ 注力事業を中心に各事業が拡大し、過去最高となる売上高451億円(前期比+13.4%)を達成
- ➔ プロジェクト管理強化により大型不採算案件が抑制され、すべての段階利益でも過去最高を更新
- ➔ 好調な業績を踏まえ株主の皆様へ利益を還元するため、1株当たり配当金は期初予想から10円増額



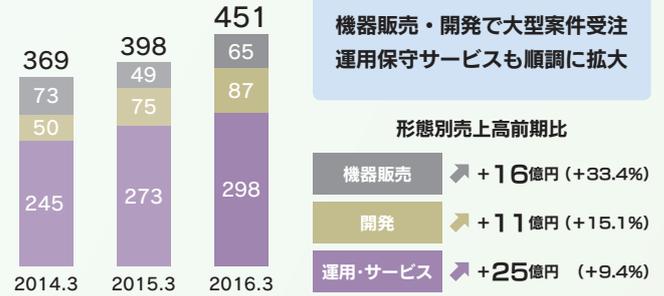
*EBITDAは「営業損益+減価償却費+のれん償却費」で算出しております。



サービス別売上高 (億円)

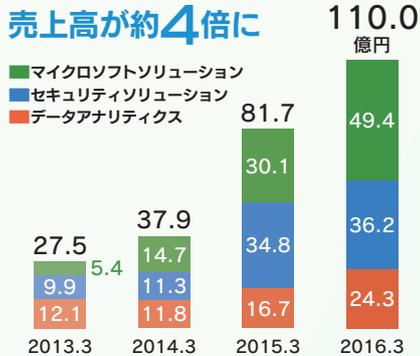


形態別売上高 (億円)



これまでの経営戦略と進捗

3つの注力事業の成長



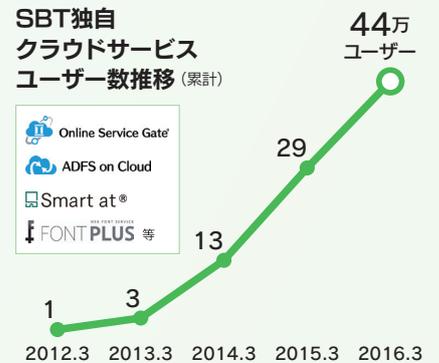
※2016年3月期より、クラウド上におけるシステム開発案件についてシステムインテグレーションからマイクロソフトソリューションへサービス区分を変更しております。

ストックビジネスの拡大



※シマンテックビジネス(個人向け)を除く

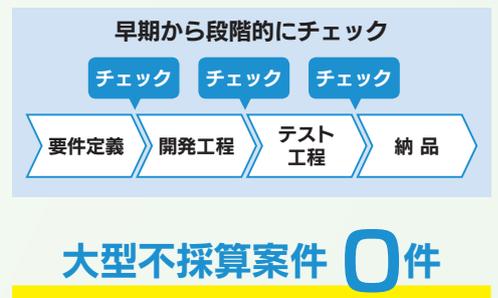
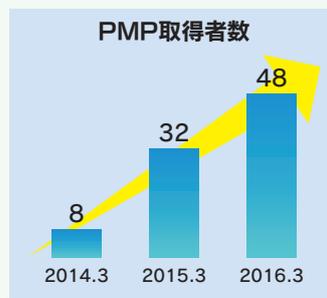
自社サービスの拡大



プロジェクト管理体制強化の状況

前期に引き続き、プロジェクト管理体制強化中

- プロジェクト管理資格 (PMP: Project Management Professional) の取得推奨
- 専門組織 (PMO: Project Management Office) によるプロジェクト進行状況の確認

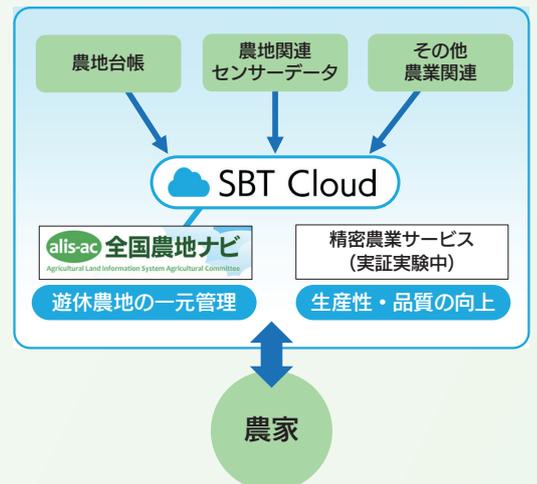


トピックス

農業分野における注力事業とIoTの融合

現在、グループの技術力を融合した独自のIoTコア技術の確立と協業による多様な実証実験を進めています。その領域は多岐にわたりますが、国の成長戦略の1つである「攻めの農業」に寄与する取り組みにも注力しています。

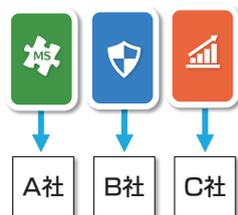
全国の農地情報を一元化して公開する「農地ナビ」は、クラウド上で展開する第2フェーズに進んでいます。また、ドローンを用いて収集した画像や赤外線データ、センサー等から入手する土壌データ、気象データなどの外部情報を集約し、効率のよい農業経営を目指す精密農業の実証実験をスタートしました。農家へのヒアリングも実施しながら、課題を解決する実用的なIoTサービスの開発を目指していきます。



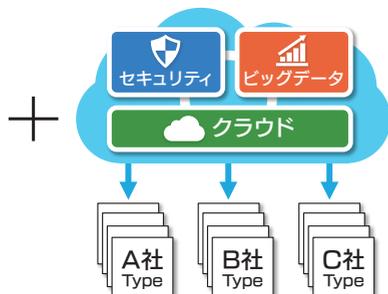
中期的な事業方針

基本戦略 1 クラウドへの集約

これまで



これから



SBT Cloud上にサービスを集約
(Microsoft Azure を利用)

基本戦略 2 IoTビジネスの開発

- IoTコア技術の確立
- 2018年に向け、各業界で実用化を目指す

IoTビジネスの領域

セキュアなデバイス&データ連携

ビッグデータ分析による付加価値

クラウドで、ビジネスをトランスフォーメーションする。

2017年3月期の重点施策

基本戦略 1 クラウドへの集約

セキュリティビジネスの 事業構造転換

- SBT専門家のノウハウをサービスとして活用
- クラウドサービスとしてセキュリティ運用を提供

お客様ビジネスの トランスフォーメーション

- ビジネス成長を加速させる、各業界向けのサービス開発

実証実験の推進

- より積極的な、企業との協業
- 実用化・ビジネスモデル化

積極採用による戦力拡大 専門スキルを持つ人材を注力事業分野で採用

2017年3月期の通期業績予想

3期連続の増収増益を目指す

- 注力3事業を中心にクラウドサービス提供でさらなる成長
- 事業拡大に必要な人材の採用と技術力向上のための教育を強化
- 安定的かつ事業成長に応じた株主還元を基本に、1株当たり配当金は30円を予定

(単位：百万円)	通期業績予想	前期比
売上高	47,000	+1,836 (+4.1%)
営業利益	2,400	+91 (+4.0%)
経常利益	2,300	+69 (+3.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,500	+94 (+6.7%)

会社概要

(2016年3月31日現在)

商号	ソフトバンク・テクノロジー株式会社
本店所在地	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
事業所	新宿オフィス(本社)、汐留オフィス、 汐留開発ベース、大阪支社、名古屋オフィス、 福岡支社、福岡開発センター、台湾支店
事業内容	ICTサービス事業
ホームページ	http://www.softbanktech.co.jp/
資本金	664百万円
従業員数	連結858人
主な子会社	M-SOLUTIONS株式会社 フォントワークス株式会社 株式会社環 サイバートラスト株式会社 ミラクル・リナックス株式会社 アソラテック株式会社

役員

(2016年6月20日現在)

代表取締役社長CEO	阿多 親市	取締役(社外)	三木 雄信
取締役	長田 隆明	取締役(社外)	鈴木 茂男
取締役	青木 克志	常勤監査役(社外)	上野 光正
取締役	佐藤 光浩	監査役(社外)	廣瀬 治彦
取締役	後藤 行正	監査役(社外)	中野 通明
		監査役	三村 一平

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-288-324(フリーダイヤル)
上場取引所	東証第一部(コード番号 4726)
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 http://www.softbanktech.co.jp/

お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきまして、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。(特別口座管理機関 連絡先)
三菱UFJ信託銀行 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店、みずほ銀行本支店およびみずほ証券本支店でお受けいたします。

ソフトバンク・テクノロジー株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア 17階
TEL 03-6892-3050(代表)
URL http://www.softbanktech.co.jp/
お問い合わせ先 管理統括 管理本部 経営企画部
MAIL sbt-ir@tech.softbank.co.jp

株式の状況

(2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	42,560,800株
発行済株式の総数	10,696,900株
株主数	3,684名

大株主

(2016年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ソフトバンクグループ株式会社	5,367,500	55.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	314,500	3.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	257,600	2.67
ザ バンク オブ ニューヨークジャスディック トリーティー アカウント	240,500	2.49
シービーエヌワイ チャールズ シュワップ エフピーオー カスタマー	211,700	2.19

※持株比率は自己株式(1,050,490株)を控除して計算しています。

※ダルトン・インベストメンツ・エルエルシーから、2016年4月28日付で提出された大量保有報告書の変更報告書により、当社が当社株式433,900株を保有している旨の報告を受けております。しかし、当社として当期末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

※ソフトバンクグループ株式会社が保有する当社株式は、2016年4月1日付でソフトバンクグループジャパン合同会社へ移管されました。これにより、ソフトバンクグループジャパン合同会社が当社の大株主に該当することになりました。

所有者別持株比率

(2016年3月31日現在)



VOICE 編集後記

株主の皆様、いつも株主通信をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。2016年3月期は、注力3事業が順調に伸び、今後は各事業の融合やクラウドへの集約によりさらなる成長を目指しています。今後も株主の皆様へ、当社が大きく成長していく過程を知っていただけるよう、最新情報をわかりやすくお伝えしていきます。引き続き、ソフトバンク・テクノロジーグループをどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



齊藤 竜一



菅 磨里奈



安部 敦恵



皆口 朋美

ソフトバンク・テクノロジー株式会社 経営企画部

